

## 行政視察報告

視察日時	令和4年7月20日（水）9時30分～11時30分
視察場所	愛知県大府市
視察項目	ウェルネスバレー構想について
視察者	民生常任委員会委員7名 当局職員1名 事務局職員1名
視察概要	<p>愛知県大府市では、愛知県と隣接の東浦町とともに、健康長寿の一大拠点となる「ウェルネスバレー」の形成を目指しています。</p> <p>「ウェルネスバレー」とは、健康・長寿に関する研究機関や施設が集積した「あいち健康の森とその周辺地区」を大府市、東浦町が名付けたもので、平成20年に「ウェルネスバレー基本計画」が策定されました。</p> <p>視察当日は、まず大府市役所で担当部署の方から説明をお聞きし、その後バスで現地に移動して現地を視察しました。</p> <p>全体面積が約252haという広大な地区内には、①全国に6機関設置されている国立高度専門医療研究センターの一つである「国立長寿医療研究センター」、②愛知県唯一の子どものための保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」、③愛知県民の健康づくりを総合的に推進する拠点施設である「あいち健康プラザ」があります。</p> <p>また、地区内は医療福祉ゾーン、健康産業ゾーン、健康交流ゾーンに分かれていて、上記施設の他にも公園や薬草園、障がい者の就労支援施設、認知症介護指導者養成施設、介護老人保健施設、介護付有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどが設置されています。さらには、JAあいち知多が運営する産直販売・レストランが一体となった「JAあぐりタウン」があり、年間200万人を超える誘客を誇っています。まさに医療・健康推進の施設集積地となっています。</p> <p>こうした施設面での事業に加えて、大府市ではウェルネスバレーのヘルスケア関連産業創出のフォローを行っています。アイデアボックスを活用した介護や福祉現場のニーズを把握することから始まり、各施設での活用・実証・販路支援までつなげるもので、製品化されたものは「ウェルネスバレーブランド認定商品・サービス」としてロゴが付与されます。</p> <p>こうした一連の取組みは、新産業の創出や現場との連携を支援するものになっており、「医福工連携マッチング支援」と呼ばれています。</p>
本市に生かせる視点	<p>大府市役所1階には、「医福工連携マッチング支援」の成果の一つとして、「とろみ自動調理機」が設置されていました。これは、ボタン一つでとろみ付き飲料を提供するものです。</p> <p>本市も含めて、連携の一つの形として全国的には「産学官」が叫ばれています。しかし、本市では特に工業生産額が大きいことを考えると、大府市のような「医福工」の連携も、健康長寿日本一を目指す一つの連携の形として大いに考えられるのではないのでしょうか。</p>